

# 陸上自衛隊留萌駐屯地が 創立60周年を迎えます

—— 山内駐屯地司令に聞きました ——

昭和28年から留萌市に駐屯し、今年60周年を迎える陸上自衛隊留萌駐屯地。山内克己留萌駐屯地司令にこれまでの歴史を振り返り、地域との関わりや役割などを聞きました。

— これまでの60年の歩みを振り返って  
— いただきたいと思います。

留萌駐屯地は、昭和28年11月、新潟県の高田から名寄に移駐していた第3連隊第3大隊を基幹とする部隊が留萌に移駐されたのが始まりです。その後、部隊改編を繰り返した後に第26普通科連隊を中心とする部隊が、留萌駐屯地に駐屯しています。かつての北海道人造石油株式会社の研究跡地に自衛隊を駐屯したため、建物は当時の施設を活用しています。

— 市民に対する印象はいかがですか。  
— 日頃から自衛隊協働会留萌地区連合会をはじめ、各協力団体、住民の方々から自衛隊に対するご理解とご支援、ご協力を賜り、非常に感謝しております。

私は、平成元年から平成4年3月まで留萌駐屯地で過ごしました。当時の山岸駐屯地司令は、昭和63年の洪水時の災害派遣を指揮されたこともあり、地域との連携、つながりを非常に重視していたように記憶しています。

歴代連隊長をはじめ駐屯地所属の諸先輩方と地域の住民が双方で取り組んできたことで、現在に至るまでその関係は深化しているのと感じています。これからも、相互の関係をより深く築いていけるよう取り組んでいきます。

— 地域における駐屯地の存在意義をどう考えますか。  
—

自衛隊は、わが国の防衛を第一義的な任務としています。特に第26普通科連隊は、道北地区を防衛警備する師団の西第一線部隊として、日夜厳しい訓練に取り組んでいます。24年度、派遣輸送隊の撤収を無事に終えた第34次ゴラン高原派遣輸送隊など、国際平和協力業務などを遂行する部隊であり、自衛隊の組織力を活用しなければならぬような災害時への救援活動などの災害派遣を遂行しています。

地域防災訓練などにおいても各団体と連携し、実効性のある対応の一端を担っています。また、「民生支援」として留萌で行われるイベントに駐屯地音楽隊や太鼓部である千望太鼓が演奏支援をしています。駐屯地の隊員のみならず隊員の家族も楽しいひとときを過ごしています。



山内 克己氏(やまうち かつみ)  
防衛大学 33期(航空工学)  
兵庫県出身、46歳

毎年、駐屯地記念行事を開催し駐屯地を一般開放して、我々の活動の一部を展示するなど、自衛隊の真の姿を見ていただき、理解を深めてもらおうと取り組んでいます。

また、駐屯地盆踊りや駐屯地定期演奏会などを開き、交流を深めています。

— 今後の地域との関わりや役割について伺います。  
—

留萌駐屯地の自衛隊は、これまで同様に地域との連携を重視して、地域とともに歩んでいきたいと思っています。

記念行事のテーマは「仲間とともに」を掲げています。これは、一人では成し遂げられないことも、仲間とともに力を合わせれば達成できることから、留萌駐屯地では常に仲間と力を合わせ、励まし合い、裏切らないということを要望しています。

そして、この60周年いわゆる還暦を迎える記念行事において、地域の住民と力を合わせ、お互いに協力し合い、信頼し合える関係を今後も深めていきたいという思いを込めてテーマとしました。

これからも自衛隊は留萌に駐屯し、留萌のマチとともに歩んでいきたいと思っています。

## 留萌駐屯地60年の歩み (一部抜粋)

歴代司令	任期	主要活動
初代 坂 清	昭和28年11月～	留萌駐屯地開設、移駐記念市中パレード実施
2代 中山 市郎	昭和29年8月～	広報機動演習の実施、広報及び募集に力を入れ成果を収めた。
3代 伊藤 松雄	昭和30年8月～	明元町倉庫火災により244名災害派遣出動
4代 高木 栄一	昭和32年8月～	元町大火災248名災害派遣出動
5代 松尾 正武	昭和33年8月～	増毛町舎熊地区農道新設工事
6代 長岡 鉄雄	昭和34年8月～	増毛町信砂橋梁架け替え工事
7代 藤井孫四郎	昭和36年8月～	羽幌町二股～豊栄道路改良工事
8代 山浦 碩人	昭和37年1月～	第26普通科連隊創設記念市中パレード実施
9代 大野垣博夫	昭和39年3月～	集中豪雨により旭町・南町290名災害派遣出動
10代 池田 壮八	昭和41年3月～	港まつり行事として自衛隊グラウンドで空挺降下実施
11代 高橋 功	昭和43年3月～	「上紋演習」254名参加任務遂行
12代 井上 弘	昭和45年8月～	駐屯地広報誌「千望台」創刊
13代 近藤 正	昭和47年8月～	道北地方暴風雪害 140名災害派遣出動
14代 北村 宣次	昭和49年7月～	第1回駐屯地司令杯争奪ママさんバレー大会開催
15代 河口 治俊	昭和51年8月～	第1回留萌冬まつり支援
16代 人見 五郎	昭和53年8月～	留萌市民運動場敷地造成工事
17代 近藤 一規	昭和55年3月～	国立公園サロベツ原野火災により300名災害派遣
18代 笠松 徹三	昭和57年3月～	留萌冬まつり 第1回やん衆どすこほい祭り支援
19代 小野田 優	昭和59年3月～	日米共同実動訓練の実施
20代 古川 浩	昭和61年3月～	第1回日本海オロロンライントライアスロン国際大会大会支援
21代 山岸 征洋	昭和63年7月～	集中豪雨により留萌川氾濫25名災害派遣出動
22代 佐藤 哲	平成3年3月～	UNTAC(PKO)駐屯地から4名派遣
23代 中原 勇	平成5年8月～	PKOルワンダ難民救援国際平和協力隊14名派遣
24代 廣瀬 誠	平成7年8月～	第20回富士登山駅伝初参加 増毛町暑寒別岳行方不明者捜索災害派遣出動
25代 上村 邁	平成9年3月～	殉職隊員の慰霊碑を建立
26代 寺崎 芳治	平成11年3月～	第11次ゴラン高原派遣輸送隊3名派遣
27代 南 安広	平成13年3月～	留萌市千望台地域行方不明者捜索災害派遣出動
28代 小田 幸昌	平成15年3月～	第1次イラク復興支援群隊員49名派遣
29代 荒関 均	平成17年8月～	第21次ゴラン高原派遣輸送隊2名派遣 留萌駐屯地音楽隊が初の演奏会を開催 留萌市パンゴベにおいて
30代 徳田 俊彦	平成20年3月～	行方不明者捜索災害派遣出動
31代 平野 剛	平成22年3月～	東日本大震災 災害派遣出動 第6次ハイチ派遣国際救援隊4名派遣
32代 山内 克己	平成24年3月～	第34次ゴラン高原派遣輸送隊13名派遣



▲東日本大震災の災害派遣出動(H23.3)



▲るもい呑まつり参加(H24.7)



▲中幌峠行方不明者捜索(H24.12)



▲萌っ春待里参加(H25.3)

## 陸上自衛隊留萌駐屯地 創立60周年記念行事

一般開放

**6月15日(土)** 午後2時～午後3時  
**駐屯地創立60周年記念マーチ**  
(市中パレード)  
市役所～北8条通り～空知信組駐車場

**6月16日(日)** 午前8時～午後3時  
**留萌駐屯地にて記念行事**(緑ヶ丘町1丁目)  
観閲式典、訓練展示、体験試乗、模擬売店など多数のアトラクションがあります。ぜひお越しください。  
一般駐車場は駐屯地グラウンド・パワスポ留萌をご利用ください。

留萌市自衛隊協働会 ☎ 42-2058